

思いを協同の力で「かたち」に ～みんなで作る高齢者住宅～

組合員・職員交流集會に100名余参加

さるかどした

八戸医療生活協同組合
〒031-0001
八戸市類家5丁目38-20
発行責任者 内田弘志
Tel.0178-71-3456



2013年迎春

写真提供・山本敏夫氏

やまがた保健生協 ☆「協同の家虹」☆

やまがた保健生協は組合員数3,200名という小規模の生協ですが、組合員の協同の力で2009年10月、住宅型有料老人ホーム「協同の家虹」を開業しました。

組合員アンケートと地域での集まりで意見や要望を集約しながら、特別増資運動に取り組むなど組合員の協同の力で実現しました。建物賃貸契約により借用する方式であったことも実現に有利であったと思われます。

入居は介護サービス利用者

個室23室、二人部屋4室の二階建て、満室で31名の入居者となり、他に訪問介護(ヘルパー)の事務所が併設されている。建設地はアンケートで多かった「商店街や公共施設」や「医療機関」が近くにある場所を配慮し、料金についても市内の他の施設より低額の個室105,000円(家賃、管理費、食費)、二人部屋80,000円(同)となっています。厳しい経営の中で「みんなで作る高齢者の住み家」に挑戦するやまがた保健生協の取り組みが続いています。



集合は、清野喬治組合員活動委員長のあいさつで始まりました。やまがた保健生協専務理事南雲清氏(写真)の基調講演「みんなで作る高齢者住宅」をじっくり聴きました。南雲専務理事は、5年越しで住宅型有料老人ホームの開業に至った

取組みの経緯と現在の到達点についてスライドを使い、基調講演の後、参加者は9つのグループに分かれて八戸医療生協が目指す高齢者住宅についてそれぞれ思いや考えを自由に話し合いました。

分散会では基調講演を聴いて、「八戸より組合員数も出資金も少ないやまがた保健生協でやっております、八戸でも挑戦すべきだ」、「国民年

どんな高齢者住宅を……

参加者は、やまがた保健生協の取組みに学ぼうと熱心に耳を傾け、質問も活発に出され、有意義な基調講演となりました。やまがた保健生協は、組合員数3200名の中で班が187班もある組合員活動の盛んな医療生協です。

やまがた保健生協に学ぶ



私の望みたい施設

- ◇「終の棲家」になる
- ◇障害のある人も入れる
- ◇認知症の人でも入れる
- ◇生活保護の人や国民年金の人でも入れる
- ◇老後が心配なので介護認定を受けていなくても入れる
- ◇夫婦一緒に入れる
- ◇医療生協らしく人間らしさを大切にする施設

建設場所はどこに

- ◇医療生協、スーパー、バス停、街の近くに
- ◇診療所を利用しやすい
- ◇家族が気軽にに行ける
- ◇ボランティアの人が通いやすいところ
- ◇買い物ができたり、友達に会いに行けるように
- ◇あまり山奥ではないところ
- ◇安い土地で津波がこないところ

総代会に向けて

理事会では、交流集會を受けて引き続き支部・支部・支部長会議等で意見、要望など集約しながら、来年度の総代会に具体案を提案できるよう検討を進めて行きます。

虹の旗

組合員と職員の交流集會(上記記事)が開催され、「高齢者向け住宅」について初めて組合員の思いや希望などを聞くことができ、「建設」に向けての第一歩となった。その中で出された「高齢者向け住宅建設」に対する多様な解釈に感心した。同じ言葉、文章を目の当たりにしてもそれぞれ解釈の多様性に驚くばかりである。それは、組合員のみならず一人ひとりが抱く高齢者住宅への期待の表れでもあると思った。

(組合員活動委員会 清野)

組合員のみなさんへ

医療生協にとって「出資金・組合員」の増やしは「要(かなめ)」です。診療所の増築、「高齢者住宅」の建設を成功させるためにも多くの組合員のみなさんのご協力をお願いします。
☐電話 (71) 3456



診療所休診日

(毎月最終土曜日)

月	休診日
1月	26日
2月	23日
3月	30日

※毎週火曜日と水曜日の午後は休診となります。

八戸医療生協創立23周年記念企画にどうぞ



比嘉さんは、沖縄県民医連の事務局長です。社会保障と税の一体改革、原発やTPP（環太平洋連携協定）、オスプレイ、憲法改正の問題など総選挙後の情勢と私たちのくらしとのち、平和について共に考える機会にしましょう。

- 日時 2月23日(土) 午後2時~4時
- 場所 市福祉公民館大会議室(類家4丁目)
- 演題 「くらしのち、平和をみつめ共に考えよう」
- 講師 全日本民主医療機関連合会社会保障委員長 比嘉 努氏

学習講演会

講師の比嘉さん、はるはる沖繩から

鑑賞券は各支部、診療所、医療生協本部で扱っています。山田洋次監督がいま2012年の家族を描く私たちの物語です。組合員のみならず、ご家族でどうぞ鑑賞しましょう。なお、当日券は1700円です。



「東京家族」、1月19日より八戸フォーラムで上映。特別鑑賞券組合員千円

組合員のみならず、新年明けましておめでとうございます。八戸医療生協は、みなさんのお力添えでこの1月21日、創立23周年を迎えます。理事会は、創立23周年を記念して映画観賞会と学習講演会を企画しました。山田洋次監督50周年記念作品の映画「東京家族」は、どこの家族でも見られる私たちの物語でもあり、私は「八戸物語」と思っています。全国の医療生協で文化活動として取り組まれます。学習講演会は、脅かされている暮らしとのち、平和の問題をテーマに全日本民医連社会保障委員長の比嘉努さんを講師にお招きして開きます。県民こそってオスプレイ配備に反対する沖縄のお話も聴けます。組合員のみならずの参加をお待ちしています。

理事長 内田弘志

支部・班活動 あらかると



一中支部 11月18日(日)、吹上公民館ホールで第9回ふれあい昼食会。過去最高の78名参加。内田理事長より「国際協同組合年と八戸医療生協の明日へ向かって」のお話。ステージでの参加者の多彩な演芸を楽しみ、昼食会へ。B-1グランプリ金賞をとった「せんべい汁」に、八戸前沖きサバの水煮、若鶏のバジル焼き、焼きりんごなど賞味し満腹。最後は会場いっぱい輪をつくらせて八幡馬を踊って散会。14人から34,000円の増資もありました。



本八戸駅前
の柿の木



南郷支部 12月13日「館のやかた」で餃子づくりの料理教室を開きました。参加者5名と少人数ながら支部長の松長咲子さんを講師に、和気あいあい楽しく勉強しました。さっそく作りたての餃子を賞味しながら、次回のこと話に弾みましました。



11月11日、一中支部あけほの班が訪問看護ステーションの看護師を招いて班会を開きました。健康チェックで血圧の高かったAさんは、看護師の勧めで翌日病院へ。「脳の血管が詰まって破れる一歩手前」と診断され、即刻入院の事態になりました。



班会の健康チェックで命が救われました



下長支部 10月28日(日)、まきば温泉へ10名が参加して支部レク・秋の紅葉と温泉を楽しむ。散策途中、ローラー滑り台に乗ったりして年を忘れてはしゃぐなど心身ともにリフレッシュしました。



根城支部白山台班会 11月30日(金)、白山台公民館に14名が参加して健康チェックと認知症学習会。健康チェックでは血圧測定と尿検査を。寺地栄所長(小規模多機能ホームみなみるいけの家)から認知症の基本的な知識と相談窓口などを学びました。

◆シリーズ・古玉晟二の止説法⑮◆
尊厳
私の唱える「あんしん相談」は、「財」と「魂」を争うことなく伝承しようというものです。しかし、最近の統計によれば高齢者社会の現象として認知症患者が300万人を超えたとか、新たな問題として浮上してきました。身内の介護で、心身をすりへらしている方の立場を察し、私自身が要介護状態になったらと予測しその対応を考えました。独りよがりでもいけませんからと探したら「尊厳死協会」を知り、「私」と「社会」との約束事が、公けになるのであれば、入会を実行しました。資料によると、同協会は1976年、産婦人科医太田典礼(リンクで有名)、刑法学者植松正らが集まって設立したとあります。今の社会状況とは異なる基盤ですが、尊厳の意味は変わりません。「いのち」を直視することになりました。「あんしん相談」も一つの局面を迎えます。宣言書を書き、協会に登録する訳ですが、文面の要旨は①延命措置のお断り、②植物状態に陥った時の生命維持装置取りやめてくださる、③となっており、正にわが意を得たりの気持ちで署名しました。ドクターへの根回しに悩んでいます。



白川美樹 介護福祉士
みなみるいけの家
利用者様、ご家族に信頼される職員を目指して日々努力していきたいと思っております。



高橋美香 看護師
訪問看護ステーション
初めての訪問看護でわからないことだらけです。一つ一つ勉強していきたいと思っております。



水谷真樹江 看護師
生協診療所
今まで経験した事の無い業務ばかりですが、前向きに取り組み、勉強していきたいと思っております。

新入職員紹介